

広尾移転100周年記念募金趣意書



昭和5年の生徒達

2023年、東京女学館は、創立135周年を迎えます。また、1923年の広尾移転より100周年を迎える記念すべき節目の年を迎えます。

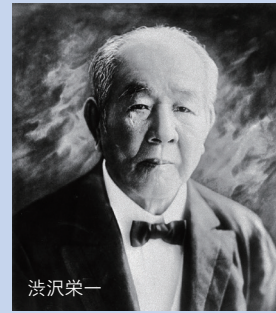
1923(大正12)年9月、関東大震災による

虎ノ門校舎の全壊を機に、かねてより敷地として確保していた羽沢(現、広尾)の御料地にて授業を再開しました(大正12年12月)。翌1924(大正13)年渋沢栄一が第五代館長の職務を執行し、鉄筋コンクリート造りの本館とN館が1928年(昭和3)年に新羽沢校舎として落成し、同年10月その祝典と創立40周年祝賀式がおこなわれました。新築資金については卒業生たちの善意により東京女学館維持会も発足し、広く会員の募集も行われました。翌1929(昭和4)年には小学科を開設し、まもなく小学部と改称しました。(渋沢栄一初代校長)

そして、1930(昭和5)年には、生徒が愛着と誇りを持って着ている白いセーラー服を制服としました。(渋沢栄一が理事長(館長)に就任)

現在、本校は「高い品性を備え、人と社会に貢献する女性の育成」という教育目標を掲げ、女性の国際化と社会参加の推進という建学の目標に沿って、諸外国との連携のもとに、女性の自己実現を支援し、インクルーシブリーダーシップの育成に努めたいと考えています。そして、21世紀の女子教育の先端をゆく教育環境をつくりたいと願っています。

21世紀にふさわしい教育環境の充実を図るために、教学と施設・設備の両面にわたる事業を行います。この目標達成のためには、学内の経営基盤の確立に努めながらも、卒業生、保護者、学校関係者はもとより、東京女学館に深いご理解をお示し下さる一般の方々からのご援助を賜りたく、「広尾移転100周年記念募金」を実施することと致しました。



渋沢栄一

つきましては、歴史的なコロナ禍、厳しい経済状況の中ではございますが、なにとぞ趣旨をご理解いただきましてご支援、ご協力を賜りたく伏してお願い申し上げます。

令和2年4月1日
学校法人 東京女学館

募金要項

募金の名称 学校法人 東京女学館広尾移転100周年記念募金

募金の目的 教育環境の整備

募金目標額 3億円

募金期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日

募金金額 個人 1口5千円「同窓生」、1口2万円「在校生保護者・学校関係者・一般」
(なるべく、2口以上ご協力いただければ幸いです、金額にかかわらず難くお受けさせていただきます。)
法人 1口10万円

振込方法 [銀行振り込み] 同封の振込用紙に所要事項をご記入の上、銀行又はゆうちょ銀行からお振り込みくださるようお願い申し上げます。
なお、手数料は不要です。
※10万円を超える現金による振込みについては、本人確認(免許証・保険証等)が必要です。
[WEB振り込み] 下記のお振込専用サイトにアクセスしていただき、表示される手順に従ってお振り込みくださるようお願い申し上げます。
<https://mirai-compass.net/dnt/kyjgh/common/dntEntry.jsf>



寄付金に対する免税措置 平成23年度税制改正により、新たな寄付金控除(税額控除)の適用を受けられることになりました。
有効にご活用ください。

○個人の場合 これまでの「所得控除」に加え、新たに「税額控除」が導入されました。
新たな「税額控除」は税率に関係なく所得税額から直接控除するため多くの方において既存の「所得控除」と比較し、減税効果が大きくなります。
寄付金控除額=(寄付金額-2000円)×40% → 所得税額から控除
税額控除には、東京女学館より送付される「寄付金領収書」「税額控除に係る証明書」と「公益社団法人等寄付金特別控除額の計算明細書」(国税庁ホームページよりダウンロード)が必要となります。

○法人の場合 1.特定公益増進法人に対する寄付金(一般寄付金と別枠で同額損金算入できる寄付金)
2.受取者指定寄付金(全額損金算入できる寄付金)
事務局までご連絡いただければ、必要な書類をお送りいたします。

遺贈による寄付制度のご案内 学校法人東京女学館は、三井住友信託銀行と「遺贈による寄付制度」の提携をしています。
なお、学校法人に遺贈した財産は、相続税の非課税財産になります。
ご相談は東京女学館広尾移転100周年記念募金事務局で承っております。

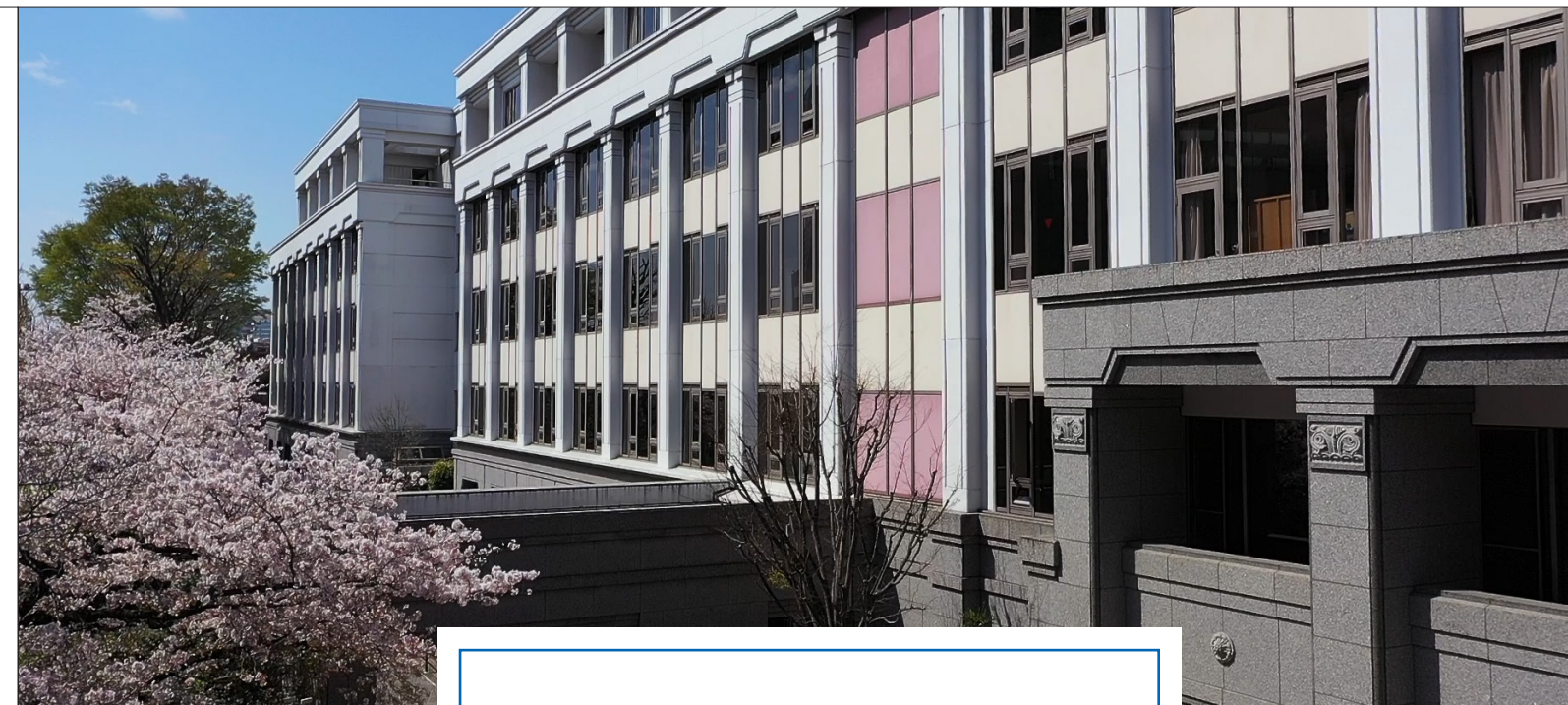


学校法人東京女学館

広尾移転100周年記念募金委員会事務局

〒150-0012東京都渋谷区広尾3-7-16 TEL03-3400-0861

<https://www.tjk.jp>



広尾移転 100周年記念 募金のお願い

東京女学館 広尾移転100周年



学校法人東京女学館



ご挨拶



令和2年度より「東京女学館広尾移転100周年記念」として3億円を目標に募金へのご協力をお願いいたしております。

2023年、東京女学館は、創立135周年を迎えるとともに、1923年の広尾より100周年を迎える記念すべき節目の年を迎えます。

5年に亘る広尾移転100周年記念募金は4年目を迎えました。

施設環境の充実化、ICT教育環境の整備等を進めて参りましたが、今後もさまざまな社会的変化に備え、就学支援制度の充実、施設環境の充実、オンラインや遠隔授業を一層充実させ、「新たな学び」に向けた教育環境の整備や、児童・生徒が安全に安心して学べる学習環境を目指して参ります。

皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

令和5年7月吉日

理事長・広尾移転100周年記念募金委員会委員長 福原 孝明

広尾移転100周年記念募金使途



アクティブラーニング室



史料展示室
※常時ご見学可能です。ぜひご覧ください。

1 広尾校舎施設環境の充実化

教育内容に合わせた施設環境の改修

2 ICT教育環境の整備

- (1) オンライン・遠隔授業などの一層の充実
- (2) ソフトの充実

3 就学支援制度の充実

経済的な理由による就学困難な児童・生徒への支援の充実

- (小学)一般教室プロジェクター更新 ●(小学)シューズケース更新
- (中高)アクティブラーニング室設置 ●(中高)机・椅子更新
- (中高)一般、特別教室プロジェクター更新 ●体育館舞台照明LED化
- 史料展示室リニューアル ●基幹サーバ更新 ●wifiアクセスポイント増設

令和4年度 広尾移転100周年記念募金寄付者ご芳名 (敬称略)

令和4年4月1日～令和5年3月31日

※匿名を希望されなかった方のご氏名を記載しています。



©TOMY

広尾移転100周年記念 東京女学館リカちゃん販売のご案内

広尾移転100周年を記念して、東京女学館リカちゃんを製作し学校窓口で販売を開始しております。広尾移転100周年記念募金は令和7年3月31日まで継続しており収益は、全額広尾移転100周年記念募金委員会に寄付されます。何卒ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

注：お人形自体は創立130周年記念時のものと同一です。
お問い合わせ：03-3400-0861 総務部(平日の9時～16時)

1体
5,000円
(税込)



©TOMY

東京女学館の沿革

1890年9月

宮内庁より虎ノ門の旧工部大学校生徒館を借り受け、移転



1930年

白いセーラー服を制服とする



1943年

校章、校旗を制定



(1928年 創立40周年 新校舎落成)

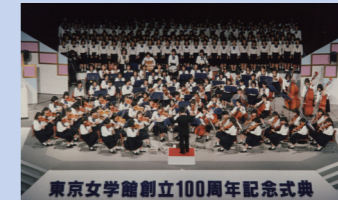
1923年10月

関東大震災後羽沢(現在の広尾)に移転



1988年

軽井沢学生寮改築 創立100周年記念式典



2023年

広尾移転100周年

1948年

創立60周年 校歌を制定 運動会でプロムナード開始



1998年

渋谷校舎改築完成 創立110周年記念行事



1888年9月11日
開校